

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 国事業の対象外となる6次産業化に取り組む事業者の取組に対する県負担は妥当。
- ・ 1/2または1/3以内
(総合化事業計画認定事業者の取組に配慮)

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,500	6次産業化に必要な機械
合計	1,500	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）
<基本方針3>-（3）-<生産者等の創意工夫を活かした販売力強化>

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	農業6次産業化促進支援事業費補助金
補助事業者(団体)	総合化事業計画認定事業者、認定農業者、認定資金就農者、農業者の組織する団体等 (理由) 6次産業化に取り組む事業者であるため
補助事業の概要	(目的) 6次産業化により農産物の高付加価値化に取り組む農業者に対して、商品開発等に必要となる施設及び機械・器具等の整備を支援する (内容) 自ら生産する農産物の加工食品の開発に要する経費
補助率・補助単価等	定率 (内容) 補助率：総合化事業計画認定(見込み含む)事業者 1/2以内 その他事業者 1/3以内 (上限1,000千円/団体) (理由) 6次産業化に取り組む事業者の初期投資軽減を図る
補助効果	新規商品開発
終期の設定	終期令和10年度 (理由) 「事業見直し」により期間を延長

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 事業主体が新商品開発に取り組み、農産物の高付加価値化、農家の所得向上につながる新商品ができています。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R元)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R10)	
					目標	達成率
①6次産業化法に基づく総合化事業計画の認定事業者数(累計)	93	103	103	111	111	93%

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	3,476	2,624	1,294

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の取組を支援 令和4年度補助事業活用事業数 6事業 (ミキサー、コンベクションオーブン、真空包装機、ロースターなど) 令和4年度総合化事業計画認定数 3事業者
	指標① 目標：106 実績：101 達成率：95%
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の取組を支援 令和5年度補助事業活用事業数 3事業 (蒸留装置、プレハブ冷凍庫、焙煎機、生地ポンプなど) 令和5年度総合化事業計画認定数 2事業者
	指標① 目標：108 実績：103 達成率：95%
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の取組を支援 令和6年度補助事業活用事業数 3事業 (鬼皮むき機、乾燥機など) 令和6年度総合化事業計画認定数 なし
	指標① 目標：108 実績：103 達成率：95%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	6次産業化の取組により経営の向上を目指す意欲的な農業者、農業法人が多く、新商品開発に必要な設備投資に対する行政支援のニーズが高まっている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 1	6次産業化に取り組む事業者の初期投資の一部を支援することで、地域づくりや所得向上に向けた新商品開発や販売促進につながっている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	農林事務所が、市町村等と連携して、事業実施体制の整備、事業計画の策定及び実施に当たって必要な指導・助言を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県の6次産業化の取組を促進するため、水産事業者や林業事業者へ6次産業化の面的な広がりを進めることが重要で当該事業の継続が必要。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 補助事業者に対しアドバイザーを派遣し、サポートすることで、事業効果を高めている。本事業者農業者、水産事業者、林業事業者、市町村等から要望が多く寄せられている。
